

平成25年度事業報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

1、事業方針

高次脳機能障害を持った者及び家族が主な利用者となる。これらの人々に行政機関、医療機関、福祉機関などの情報を提供することや、高次脳機能障害者と家族の相談や情報、交流の場と、理解のための講演会を実施する。また自立支援法に基づく福祉サービス事業により、医療リハビリテーション後の生活訓練、社会参加準備訓練などの自立のための支援と就労のための支援を行なう。

2、事業内容

特定非営利活動にかかる事業

(1) 高次脳機能障害および家族への支援に関する事業

【相談支援事業】

決算 1,723,609 円

場所・日時	内容
クラブハウス・シェイキングハンズ 随時	・電話相談。予約いただき、来所で面談を行った。 障害について、年金の取得はどうしたらよいのか、相談を受けた。
廿日市相談会 日 時 場 所 受益者	家族の悩みや相談、家庭での対応法を話し合った。 廿日市総合相談室より、紹介を受けた人が参加 第1木曜日 10:00～12:00 廿日市総合福祉センターあいプラザ 利用延べ人数 48名 毎月5名～8名参加
広島市中区相談会 (広島市高次脳機能障害支援事業) 588,000 円 場 所 受益者	専門家と家族体験者がグループ形式で、参加した家族のそれぞれの悩みや対応法を話し合う。 当事者ワーク実施 個別相談：生活支援、交通事故示談、福祉サービス利用について 毎月第2火曜日 生活相談:10:00～12:00 (グループ形式で) 個別相談：14:00～16:00 (予約制) 広島市中区地域福祉センター5階 利用延べ人数 130名 平均10名参加 個別相談 25名 当事者ワーク 5名

呉 相 談 会 日時 場所 受益者	今年度は廿日市や広島と同じような形で、相談会を実施。 当事者ワークも実施。 毎月第2木曜日：14:00～16:00 呉市つばき会館 延べ利用人数 56名
JOBJOBミーティ ング	一般就労している当事者たちの交流と相談を実施して、集まる人たちが定着してきている。 延べ利用人数 58名
従事者	社会福祉士・言語聴覚士・法律家助手・家族体験者・支援員
実施効果	<ul style="list-style-type: none"> ・相談会はグループ形式で行い、悩みの共有や体験者からの助言、障害のために起こるいろいろな問題などを話し合うことで、障害の理解につながり、家族間の関係が良くなってきた。毎回参加される方は、当事者の対応が良くなり、福祉サービス利用も徐々にすすみ、地域の理解に繋がっている。 手帳取得は進んでいるが年金申請で、家族が記入する生活状況はまだまだ理解が進んでいないと感じる。個別で指導をしている状況だ。 ・当事者ワークに新しく参加する人が今年度はほとんどいなかった。最近では病院や福祉の窓口からの情報がスムーズに行われているためか、入院中の早い段階での相談、または当事者はリハビリ中の方が多く、家族のみの参加が多かった。 ・当事者交流会は徐々に内容が充実していて、辞めたい人がいるとみんなでするのが良いのか考えたり、働き続けるにはどう考えたらよいのか、職場では話し合えない同じ仲間だからこそ言える彼らに必要な場になってきている。

(2) 総合支援法に基づく福祉サービス事業

【クラブハウス・シェイキングハンズ】

チャレンジ（就労移行支援事業）

決算 14,602,433 円

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一般就労を目指す人を対象に訓練を行う。 軽作業を通して障害の状況が見える化し、企業に伝えることができるように整理する関係機関と連携し、適性に合った職場探しから、職場定着まで支援する。 【プログラム】 施設内で行う下請け作業、現場での実習、就労準備支援。 就労の見込みがある程度たった時点で、障害者職業センターで職業評価を受けること、そしてハローワークを通してジョブコーチ支援を受ける
-----------	--

	流れで支援している。また「プロフィール」を作成して、履歴書では伝えきれない障害の具体的なこと、配慮してほしいことを伝えて、ハローワークや企業側にその人に会う仕事をイメージしてもらう。
事業日程	通年月曜～金曜 10時～15時
場所	クラブハウス・シェイキングハンズ
従事者	就労支援員・生活支援員
受益者	延べ利用者数 14名
実施効果	一般就労 5名 ワークステージへ移行 2名 就労継続 A 型 1名 吉備リハへ 1名、現在一般就労のフォローをしている

ワークステージ (就労継続支援 B 型)

内容	基本的な生活習慣や能力を養う訓練に力を入れて、生活リズム、マナーや対人技能の獲得、記憶や注意の障害の克服に取り組む。 朝きちんと起きること、身だしなみを整える、人の話を聞くこと、理解することなどの働くための基礎力を訓練している。 働くことがすべてではなく、自分のやりがいを見つけるために、アートセラピーや絵手紙を実施している。
事業日程	通年 月曜日～金曜日 10:00～15:00
場所	クラブハウス・シェイキングハンズ
従事者	生活指導員・職業指導員
受益者	延べ利用者 23名
実施成果	一般就労 2名 復職 1名 チャレンジへ移行 2名 その後一般就労した 週 1日～週 3日と徐々に通所日数が増えてきた人がいる。

(3) 高次脳機能障害者の一般社会への啓発活動及び広報活動に関する事業

決算 793,169 円

1、講演会実施	内容
<p>H25・6・23 広島市佐伯区地域福祉センター 参加者 50 名 実施効果</p>	<p>1、「高次脳機能障害者が一人になった時を考える」第2弾 講師：東川悦子さん（NPO法人日本脳外傷友の会理事長） 講師：甲斐野正行さん（弁護士法人広島メープル法律事務所弁護士） 東川さんの日本脳外傷友の会設立からこれまでの体験のお話と、息子さんの一人暮らしのお話を通して、親の目の届くうちに一人暮らしを経験させること、介護者亡き後SOSが出せずに孤立することなど、いろいろな問題について考える機会になった。その後は成年後見制度と任意後見制度について専門家からのメリット、デメリットなど。</p>
<p>H25・9・7 ビューポート呉 参加者 50 名 実施効果</p>	<p>2、「高次脳機能障害者が一人になった時を考える」第3弾 講師：椋田俊男さん（呉市社会福祉協議会地域福祉課） 山本英明さん（呉地域障害者生活支援センター） 呉で暮らす障害者のための支援に携わっておられる社会福祉協議会の方に、地域の相談窓口の機能を紹介していただき、その後会場のご家族や支援者とともにグループでディスカッションを行った。支援者の参加が多く、体験者からの生活支援の話を聞かれたことが良かったという意見が多かった。</p>
<p>H25・10・12 広島市東区地域福祉センター 参加者 63 名 実施効果</p>	<p>3、「支える家族が元気になるために」 講師：本多留美先生（言語聴覚士） 講師：宇治木敏子先生（NPO法人日本タッチコミュニケーション協会理事長） 本多先生のお話は事例を絡め表面の言動だけで判断されて、間違っただけで見立て方や対応をされやすい障害特性のお話や、支援の計画を立てるとき、いつも進歩や成長が目的になるが、それがすべてではないことなど、改めて考えさせられたことが多かった。そして支える家族のストレスを解消するお話は家族にとってホッとすることであった。</p>
<p>H25・11・23 広島県リハビリテーション講習会 広島YMCA国際文化ホール 実施効果</p>	<p>4、「高次脳機能障害の夫と共に」 講師：柴本礼さん（イラストレーター） 対談：柴本礼さんと守下潤子さんの対談 聞き手：隅原聖子さん（高次脳機能障害支援コーディネーター） 「日々コウジ中」のマンガ本でおなじみのイラストレーター柴本さん</p>

<p>H26・2・2 廿日市地域福祉センター 参加者 60 名 実施効果</p> <p>2、情報提供</p>	<p>にご自身の体験を通して、高次脳機能障害者と共に暮らす中での高次脳機能障害特有の症状や日々の出来事に加え、保険会社や行政への手続きの大変さを、家族の立場から感じたことをお話された。その後、守下さんの体験は交通事故が原因の高次脳機能障害について、事故示談の大変さを話ししてもらい、体験者からしか聴くことのできない貴重な講演会であった。</p> <p>4、「体験から学ぶ高次脳機能障害」 発表者：赤木睦子さん 日山瑞恵さん 大岩寛子さん</p> <p>今回の勉強会は、医療や福祉の現場で高次脳機能障害者の支援に携わる支援者を対象に当事者家族の体験発表を聞くことで、病院では分かりにくい日ごろの家庭での様子や出来事を家族がどのように対応しているか、またその様子を知ることで、支援のあり方を考えることができたように思います。</p> <p>6、ホームページによる情報提供と管理 7、講演会の記録を冊子に作成 8、年3回会報発行 9、新しくパンフレット作成（廿日市西ロータリークラブ助成金）</p>
--	---

(4) 家族支援事業

決算 903,942 円

<p>家族交流会</p> <p>平成 25 年 4 月</p> <p>平成 25 年 7 月</p> <p>平成 25 年 9 月</p> <p>平成 25 年 10 月</p> <p>平成 26 年 3 月</p>	<p>1,毎月第2火曜日 中区相談会の後、13時～15時まで 場所：広島市中区地域福祉センター5階</p> <p>2,毎月第3火曜日 県リハ家族セミナー後 15時～16時 場所：広島県障害者リハビリテーションセンター</p> <p>日本脳外傷友の会代表者会議に参加して、厚労省、国土交通省、文部科学省に出向き話し合う。(横浜)</p> <p>当事者家族交流会 手作りピザを食べながら全体での交流会</p> <p>脳外傷友の会全国大会 in おおいたに参加 (大分県) 全国の情報交換</p> <p>当事者と家族でアートセラピーを体験</p> <p>高次脳機能障害中国ブロック会議参加</p> <p>各地域での取り組みを聞き、特に島根県の福祉施設での取り組みやネットワークが出来ている。</p>
--	--

その他の活動事項

日時	内容	参加者
平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	就労移行支援ネットワーク会議 毎月参加 夜の勉強会も参加	山田・濱田
H25 年 4 月 13・14 日	脳損傷ケアコミュニケーション学会参加 (横浜で開催)	守下・濱田・小林
H25 年 8 月 29 日	神奈川工科大学小川善道先生からの声かけ で、「クィーンズランド脳損傷協会シナプス から学ぶ」をクラブハウスで実施	クラブハウス職員 サポートネット理 事、家族役員他
H25 年 7 月と 平成 26 年 3 月	広島県高次脳機能障害連絡協議会 参加 各機関の報告を聞くと高次脳機能障害者 に対する対応が増えているように感じた。	濱田・日山
H25 年 7 月 21 日	吉備職リハを職員全員で見学、入所している 当事者の様子も見る事が出来た。	職員全員
H25 年 10 月 6 日	パイロットウォークに参加	家族役員
H25 年 1 月 19 日	障害年金請求の援助実践と具体的課題 ～障害年金請求のポイント～ 講演会参加	濱田・山田
H26 年 2 月 20 日	あけぼの職員研修会に講師として参加	濱田
H26 年 3 月 14 日	尾道障害者サポートセンターはなはな 家族の集いに講師として参加	濱田
平成 26 年 3 月 8 日	高次脳機能障害中国ブロック会議 (松江) 会議に参加、講演会参加	濱田、日山、守下、 藤原